

DO YOU KNOW? にいがた



MAR 2026
Vol.454

3

よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指す



福祉企業とその他企業の壁を壊す
”私たちにできること“

「一般社団法人障害者協働ネットワーク代表理事」足立裕介氏 長岡支部

“想いを”事業“に、
そして”企業“に



PROFILE

足立 裕介さん

一般社団法人障害者協働ネットワーク 代表理事

法人設立と自身の生き方

障害者協働ネットワークは、簡潔に言えば「障害者福祉事業の営業支援」を生業にしている会社です。就労継続支援事業所などでは、各社で利用者が行う仕事を請け負っています。中には、その仕事づくりがうまくいかない企業もあり、そういった企業へ一般企業などの仕事を紹介することが、大きな業務の一つです。

私は普段、長岡の社会福祉法人で社員として働いています。そこでは、自社の業務内容の他、福祉全般の仕事をしています。ある時、会社でダブルワークの許可が出ることになりました。日々の仕事の中で「障害者と企業を繋ぐ」ということが楽しく、もっと専門的に関わりたい、と思ったことが創業の理由です。現在は役員4名の会社ですが、同業の別法人の方との繋がりの中で、考えに賛同してくれた方で設立に至りました。

教育学部のある大学に受験失敗し、新潟医療福祉大へ進学しました。当時は福祉に興味を持っていただけではありませんが、在学中にメンタルケアのコースを選択すると、悩んでいる方にどんな声を掛けられるのか、悩みの解決に何ができるのかと思つよつになりました。そんな仕事ができればと行政を受けるも、行政の中の福祉分野というピンポイントな応募は狭き門で、結果的に現在の社会福祉法人に入社することになりました。

入社をして感じた一番の悩みは「新卒の私が、年上の利用者へ「働くこと」を語る」ということ。葛藤もありましたが、外回りの営業等面白さもあり、「一人に関わりながら、自分にできることをする」が根っこにあったと思います。

- ① 福祉事業所の販売会を企画
- ②③ 同友会企業との連携 バス清掃



同友会の入会と、「福祉企業」と「その他企業」の壁

福祉事業で働く中で、(株)Winkonの小林俊介さん(柏崎支部)とは長く良くしていただいていた。起業後に同友会を紹介してもらいましたが、支部の活動はあまり自分には刺さらず、退会も検討していました。最後に、と参加した2024年の経営フォーラムで、エフテクニクス(株)の藤島俊祐さん(新潟支部)から青年部会を紹介され、活動に参加するようになりました。経営者に触れて感じたことは「みんなめっちゃくちゃ社員のことを大切にしている」ということ。言葉に出てくる社員への感謝。自らが雇用をできるまでになれば、絶対に大事にしたいと感じました。

また、企業の現場と福祉の現場を伝え合うことが必要だとも感じました。各社が抱える課題やコストに、「福祉の企業ならこんなに手伝えるのに」というケースが非常に多く、お互いのイメージを払拭して、壁を壊すことは、自社の事業関係なく必要なことだと感じています。

自社の役割は「利用者の好きなことを仕事にする」こと。「利用者の仕事づくり」は課題になっている事業所が多く、企業側も労働力不足に直面しています。そこへ利用者にやりたい仕事を提供できるような状態にし、仕事に前向きに臨んでくれる人材を企業に紹介することです。これを拡げていくこと、自社が関わらなくても当たり前になることが私の何よりのやりたいことです。火事がなくても消防士は必要のように、自社の存在意義は残り続けるとも考えています。

今、青年部会で役割を頂いており、自

の課題を解決する例会を複数開催させてもらっています。全国大会では「利益もなく、仕事になっていない」「会社に専念して本気になれ」と厳しい指摘もいただきました。企業として、経営者としての土台を固め、学びながら悩んで、事業の拡大を図っていききたいと思いません。

障働 SHODOH

足立さんの
会社は
こちら!

一般社団法人障害者協働ネットワーク

代表理事：足立 裕介氏(長岡支部)
事業内容：障害者の所得向上や活躍推進のため
企業連携の共同受注・窓口事業
住所：新潟県長岡市五反田町366番地1 TEL：080-5223-2886
創業：2022年 従業員数：役員4名

支部・委員会・部会活動報告

燕支部

燕支部 支部長 1年目を終えて



1月燕三条合同例会
会員外報告者の高畑さん(左)と
樋浦さん(右)



基調報告
本多貴之さん

年度末を迎え、燕支部長としての1年目を無事に終えることができました。初めての大役で不安もありましたが、4人の副支部長をはじめ支部の各チームの皆さんに支えられ、充実した活動となりました。対内外での報告例会や、同じテーマを2回行うブラッシュアップ型の取り組みも功を奏し、良い成果につながったと感じています。

個人的には、6月のアオーレ長岡での合同例会、中小企業経営フォーラムでの基調報告という大きな舞台で発表する機会をいただき、大変緊張しましたが、これまで以上の自信と覚悟が芽生えた1年でもありました。

来年度の燕支部はさらに新たな動きを計画しています。新潟県中小企業家同友会もより地域に必要とされる存在になっていくことでしょうか。私も微力ながら協力し、共に成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

燕支部長 本多貴之
(ミノル製作所(株)代表取締役) 記

下越南支部

スローガン 『さげ出せ未来のために。 向き合え、仲間のために』



2025年度のスローガン「明るい未来は自社の経営指針にあり! (原点回歸)」を合言葉に、経営指針の成文化と実践を軸に学びを深めました。会員が自社の現状把握から進むべき方向・目的・夢を言語化し、PDCAを回しながら付加価値を高める取り組みを後押ししました。また、採用や資金調達等の課題に対しては、行政・金融・学校等との連携も意識し、起業家(第一創業)を支える学びと交流を重ねました。

2026年度は、スローガンを『さげ出せ未来のために。向き合え、仲間のために』とし、「社員の笑顔が地域の未来と会社の明日を創る」を共有し、「本気・本音」で弱さも語れる例会へ転換します。逃げない・隠さない・見捨てない姿勢で、例会終了後に必ず「明日からの一つのアクション」を宣言し、支部内で進捗を共有して学びを行動に変えます。

重点を置いていくこととして、①会員の経営課題報告を中心に、参加者全員が自分事として解決策を絞り出す「徹底討論」を重視する。②ゲストの核心を深掘りし、参加後のフォローを徹底して仲間づくりを加速(年度末会勢40名を目標)する。③行政・学校等との越境連携を進め、地域課題解決やキャリア教育の取り組みを対外的に発信する。④支部内外への声掛け・企業訪問を継続し、会員が孤立しない風通しの良い支部運営を推進。

以上が今年度の振り返りと次年度に向けた下越南支部の活動報告です。
下越南支部長 野瀬陽(有新光園)ガ
デンスタジオ雅楽庭代表取締役) 記

(一社)新潟県中小企業家同友会には5つの委員会・4つの部会があり、希望する会員は委員会・部会にいくつでも入ることが出来ます。合計9つの委員会部会は経営の課題ごとに分かれており、それぞれのテーマを専門的に学び、問題を解決していくところです。現場に直結した専門分野を深く学び、経営課題を解決するために共に学ぶ活動を行っています。

女性部会

女性部会活動報告 2025



女全交
分科会集合写真



分科会座長の
山田育永さんと
報告者の
奥野真理香さん(右)

今年度の女性部会でメインの活動を二つ報告させていただきます。

①第28回女性経営者全国交流会 in 東京
テーマ「グラデーション〜咲き誇れ、じぶん色、みんな色」

全国から女性経営者を中心に約1000名の参加者が集まりました。新潟から魚沼支部の奥野真理香さん(なにな茶屋 女将)が報告者に選ばれ、女性部会の皆様と参加させていただきました。料亭の女将をしながら前職の経験を生かし、障害者雇用という難しいテーマに挑戦している奥野さん。今回までの女全交のテーマとマッチし、選ばれたからバトンタッチしたばかりの状態だったので、全国の舞台での報告は、正直本人も周りも不安な中での挑戦になりました。座長の山田育永さんも初女全交、そして座長経験も初めてという手探りの状態からのスタートで、本当に悩みながら頑張ってくださいまし

た。そんな中でも沢山の方々がサポートしていただき、無事に大舞台を終える事ができました。関わっていただいた皆様、本当にありがとうございました。

奥野さん、山田さん本当にお疲れ様でした。そして私達も共に成長する機会に恵まれた事を感謝しております。

②女性議員さん達と共に考える町づくり

女性が住みやすい町作りをテーマに下越南支部 木村地与仁さん(木村建設(株) 代表取締役)を座長に例会をさせていただきました。少子高齢化が進む中、子供を産み育ててくれる女性にどうやったら地元根付いてもらえるのかを女性議員さん達と話し合いました。このテーマは、長期スパンで考えていかないといけないので、次年度以降も引き続き進めて行きたいと思っています。

女性部会副部長 金井 佐也子(株)naiva 代表取締役 三条支部 記

ソーシャル ビジネス部会

同友会の「障害者問題」を 考える重要性

ソーシャルビジネス部会は今年度、「会員企業と福祉事業所の連携」「福祉だけでなく、様々な人材活躍事例を生み出す」「連携事例をきっかけに、地域に欠かせないリーディングカンパニーを輩出する。」を掲げてきました。

7月には、中同協の「障害者問題委員会」を初めて新潟で開催することができたり、10月の障害者問題全国交流会 in 青森へ5名で参加することができたりと、新潟の中だけでなく全国の事例に触れたり、同友会における障害者問題に向ける意識の高さと重要性を再認識しました。

一方で、活動がコアメンバー化してしまつたこと、コアメンバー以外への情報発信が滞つてしまい、所属のメンバーをうまく開き合い活動を広げていくことができなかったことが大きな反省点です。

次年度は、組織体制も変更を予定しており、より多くの方がソーシャルビジネス部会の活動に参加をして、悩みを共有し課題を解決できる。各社の実践や最新事例を学びあい、福祉事業もそうでない企業もお互いの事業の発展を目指し合う。そんな部会にしていきたいと考えています。ソーシャルビジネス部会は、人を生かす経営に密接にかかわる部会です。共に学びあい、活用して自社経営に生かしましょう！

ソーシャルビジネス部会長
小林 俊介(株)WithYou 代表取締役社長
柏崎支部 記



青森障全交
全体会

障害者問題委員会 in 新潟
登壇する新潟メンバー

《新入会員紹介》

入会おめでとうございます。新しく入会された会員を紹介します。

①役職 ②業務内容 ③支部 ④入会日 ⑤紹介者



あおき ともこ
青木 朋子

(株)千尋

- ①代表取締役
- ②【和食部門】料理・ドリンクの提供
【クラブ部門】お酒・会話の提供
- ③新潟支部ウエスト地区
- ④2025年7月24日 入会
- ⑤柳徹

新潟市古町で日本料理ゆかりや、クラブ蓮、くらぶ雅、くらぶ椿を営んでいます株式会社千尋の青木朋子です。人と人との関わりを大切に思っています好きな言葉は「継続は力なり」です。宜しくお願いいたします。



はせがわ さかえ
長谷川 栄

(有)新潟刃物

- ①専務取締役
- ②業務用品、刃物の卸売
- ③燕支部
- ④2025年7月25日 入会
- ⑤田代康浩

燕支部に入会しました(有)新潟刃物の長谷川栄です。包丁を中心とした卸売業をやらせて頂いております。同友会で刺激を受けて一段とステップアップ出来るように励んで行きたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



かいせ りょう
貝瀬 涼

新潟塗装店(株)

- ①代表取締役
- ②建築塗装
- ③魚沼支部
- ④2025年9月20日 入会
- ⑤青木満昭

新潟塗装店株式会社の貝瀬と申します。仕事を通じて地域に必要とされる存在でありたいという想いで経営しています。同友会での学びとご縁を大切に、より良い会社づくりに努めてまいります。よろしくお願い致します。



のだ かなみ
野田 奏美

テクノアート(株)

- ①代表取締役社長
- ②工業用電気機器および装置の設計・製造・販売
- ③佐渡支部
- ④2025年9月26日 入会
- ⑤柴原健司

テクノアート株式会社の野田と申します。二部門ありまして、製造業とデザイン業をしております。製造は電子部品の製造・組立を行い、デザインはゲーム業界でのイラストやデザイン制作を行っております。営んでおります。同友会では経営者の方々と積極的に交流し経営について学んでいきたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。



ふくもと じゅんや
福元 淳也

(一社)フジライフスマイル

- ①代表理事
- ②障がい福祉事業
- ③新潟支部イースト地区
- ④2026年1月27日 入会
- ⑤猪又隆一

障害のある方の就労支援を通じて「地域で最も信頼される法人づくり」を目指しています。毎年10名以上の一般就労を実現できる事業所づくりを目標に掲げ、組織づくり・人材育成にも力を入れています。経営者として、会社の成長だけでなく、地域の中で必要とされる存在になれるよう挑戦を続けたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



さとう しょうた
佐藤 翔太

(株)青山会館

- ①取締役調理長
- ②イベント、会合、各種宴席や慶事・仏事などでの料理の提供
- ③村上支部
- ④2025年12月24日 入会
- ⑤武者将由

村上支部に入会しました、株式会社青山会館の佐藤翔太です。村上市の九日市というところで飲食店の料理長をしております。同世代、先輩の若手経営者の皆さんと交流ができればと思っております。これからよろしくお願い致します！



三田敏志さん



私とお話しませんか？

会員交流の館

会員が「今一番会いたい、話を聞きたい会員」を訪問するコーナー。

今月は瀬賀真亮さん(クリボウ 村上支部)が三田敏志さん(有夢ファームあらかわ 村上支部)へ訪問する様子をお届けします。

vol30



三田：正直に言つと、仲間誘われたのがきっかけで、当時は同友会が何をしていたのかもよく分かっていませんでした。意外と断れないタイプで、人から頼まれるとすぐ入ってしまうんです。でもそのおかげで、「生産者」のままではなく、「経営者」という視点を持ってたんだと思います。

三田：最近、あえて現場に出すぎないようにしています。私が命令してやらせるのでは

瀬賀：まずは、同友会に入られた経緯を教えてください。

瀬賀：独自の商品名も印象的です。

(笑)。でも、「面倒だな、行きたくないな」と思う時こそ、あえて行くようにしています。楽な道より、大変な道を選んだ方が自分の身になりますから。実際、昨年の経営フォーラムで役割を任せられ、責任を持って動いたことで、皆さんと知り合うきっかけができて、自分の居場所を見つけることができました。

瀬賀：最後に、今後の展望をお聞かせください。

対談者

業：クリボウ
代表：瀬賀 真亮 氏(村上支部)
事業内容：チラシ・HPのデザイン、制作、コンテンツ作成

業：(有)夢ファームあらかわ
取締役：三田 敏志 氏(村上支部)
事業内容：農産物の生産・集荷・販売

例会や行事の報告など、情報共有の場としてフリーテーマで同友会の情報を発信します。

青年部会主催 企業変革支援プログラムVer.2 登録説明会

企業変革支援プログラムVer.2の登録説明会が、2月10日17時にZoomにて、青年部会主催で開催されています。同友会の会員全員がe.doyuから活用でき、自社の現在を数値にして円グラフ化する「会社の健康診断」が企業変革支援プログラムVer.2です。今回は3月3日10日(火)それぞれZoomで19時〜20時に開催される登録説明会について、主催の青年部会からのメッセージと、説明会で登録を行った方の感想を紹介いたします。

株はるかぜツアー
代表取締役 猪又隆一氏
(新潟支部ウエスト地区)

なぜ今、私達青年部会が企業変革支援プログラムの登録説明会を主催したのか？企業変革支援プログラムの登録数が増え、現在新潟同友会にて進める「青年経営者全国交流会の新潟誘致」に繋がることはもちろんですが、それ以上に「経営者として、このプログラムが自社に必要だ」と強く感じたからです。せっかく皆さんに登録をお願いするのなら、単なる数字としてではなく、その中身と価値をしっかりと知った上で納得して活用してほしい。そんな思いからこの場を企画しました。実は、私たちもまだ完璧に理解できていないわけはありません。皆さんと同じ目線で、自社の変革のためにしっかりと学びたい。そんな「共に学ぶ場」にしたいと

いと考えています。このプログラムの良さは、会社の「今」を健康診断のように可視化できることです。診断結果がリーダーチャートで見えるので、自社の強みや弱みが一目でわかります。全国の仲間や同業種と比べることで自分たちの現在地が分かり、毎年続けることで成長を数字で実感できます。客観的なデータを待つことで社員さんと一緒に「次の一歩」をワクワクしながら話し合える。そんな経営指針の実践に向けた一歩を、私たちと一緒に踏み出しましょう!!

ECアシスト&パートナーズ
代表 草間 光夫 氏
(新潟支部セントラル地区)

個人事業主として昨年に引き続き2年目の登録となりました。正直なところ、社員を雇用していない自分にとって、このプログラムがどこまで必要なのか、参加前は迷いもありました。しかし実際に取り組んでみると、普段の事業運営では立ち止まって確認することの少ない観点や考え方に多くの気づきを得ることができました。特に市場や顧客に関する

MAZAO(株)
代表取締役 小竹 康裕 氏
(柏崎支部)

企業変革支援プログラムVer.2の概要説明から実際の登録手続きに至るまで、1から10までサポートしていただきました。いわゆる同友会用語でわかりにくくなりがちな内容も、具体例を交えながら説明してくださり、理解を深めながら安心して進めることができました。疑問点にも一つひとつ的確に対応していただき、不安なく登録を完了できたことに感謝しています。非常にわかりやすく、実務に直結する有意義な会でした。

【次回開催】
3月3日(火)・10日(火) 19時〜20時
Zoomにて開催!!

企業変革支援プログラム Ver.2 登録説明会のご案内

毎年の登録で自社の健康診断を!

インストラクターと一緒に自社の健康診断を!

青年部会から「企業変革支援プログラムVer.2」の登録説明会を開催のお知らせです。誰でも使えるe.doyuの機能ですが、会員の皆様の中でも「企業変革支援プログラムはよくわからない」という方も多いと思います。ご多忙中、自社のセルフチェックで定期的な健康診断を始めませんか?説明会は、定期的にオンラインで開催します。ご都合のつく日程にご参加ください!実際にインストラクターと共に回答しながら、自社分析を進めましょう!青年部会に限りご参加をお待ちしております!

開催日程: インストラクター: 申込方法

※Zoomにて開催、パソコンで接続ください!

03月3日(火) 19:00~20:00
インストラクター: 上野 達実 氏
e.doyu参加登録はこちら

03月10日(火) 19:00~20:00
インストラクター: 船橋 美穂 氏
e.doyu参加登録はこちら

企業変革支援プログラムVer.2とは?

A: 企業変革支援プログラムVer.2とは、e.doyuでも利用できる自社のセルフチェックツールです。自社の実践や取り組みを数値ごとに回答し、数値をグラフ化することで、自社の状況を可視化できます。

- 登録する4つのメリット
- 1. 自社の実践を数値化: 曖昧な取り組みを客観的に把握。
- 2. 強みと弱みを可視化: レーダーチャートで一目で課題がわかる。
- 3. 課題を抽出し改善へ: 次年度に生かせる具体的なポイントに。
- 4. 過去と比較し変化がわかる: 毎年の更新で自社の成長を実感。

【チェック内容】 理念・指針の社内共有、環境分析、顧客満足度の把握、付加価値を高める行動など、全6カテゴリー・26項目。回答はオンラインで約15分程度で完了し、データは自分以外には公開されません。

e.doyuで今すぐ登録!

企業変革支援プログラムVer.2・e.doyuへのログイン方法等、ご不明な点は事務局まで!
(一社)新潟県中小企業家同友会 青年部会 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A
TEL: 025-288-1225 メール: info@niigatadoyu.jp

企業変革支援プログラムVer.2 登録案内

このプログラムがどこまで必要なのか、参加前は迷いもありました。しかし実際に取り組んでみると、普段の事業運営では立ち止まって確認することの少ない観点や考え方に多くの気づきを得ることができました。特に市場や顧客に関する

DO YOU KNOW?にいがた

2026年3月1日号

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会 広報情報化委員会

住所: 〒950-0901 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A
TEL: 025-288-1225 FAX: 025-288-1226
E-mail: info@niigatadoyu.jp
HP: https://www.niigatadoyu.jp/

頒価250円(年間3,000円・送料別) 会員の購読料は会費に含まれます。

編集後記

広報情報化委員会の担当を交代することになり、入局した頃からの広報誌取材や情報化セミナーを思い出していました。広報情報化委員会は、個人・会社の広報の課題、情報化の課題を解決する委員会です。「口下手で」「説明が下手で」「文章力がなくて」という個人的な課題から「メディア発信がしたい」「SNSを活用したい」という企業の課題等、何をしたらいいのかわからない、という方こそぜひご活用ください。「何をしたら学べるか」について考えて、実現しましょう。実践している会員さんへ取材に行き、自社に生かしましょう。

(一社)新潟県中小企業家同友会 事務局主任 高橋 拓夢 記